アマノ株式会社

本社／〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町275番地 TEL (045)401-1441(代表) FAX (045)439-1150

札幌支店	011(865)4721	厚木支店	0462(24)5011	南大阪りんくう営業所	0724(69)5661
盛岡営業所	019(647)7866	藤沢営業所	0466(87)6901	神戸支店	078(371)2345
秋田営業所	0188(64)0456	静岡支店	054(237)6181	姫路営業所	0792(23)2067
仙台支店	022(244)2191	沼津営業所	0559(22)6078	岡山支店	086(244)0061
山形営業所	023(624)5830	浜松支店	053(475)1441	高松支店	087(837)6960
郡山支店	0249(32)5080	新潟支店	025(241)9331	高知駐在所	0888(66)8130
水戸支店	029(225)5073	長岡営業所	0258(23)3341	松山支店	089(931)1150
宇都宮支店	028(638)8511	長野支店	026(227)4310	広島支店	082(273)3101
高崎支店	027(363)1141	諏訪営業所	0266(53)7351	松江営業所	0852(24)9422
大宮支店	048(652)2461	金沢支店	076(240)3456	山口営業所	0839(72)6751
東埼玉支店	0489(76)3811	富山支店	0764(22)8411	北九州支店	093(921)0407
柏営業所	0471(33)3905	豊橋営業所	0532(32)3315	福岡支店	092(473)6181
千葉支店	043(234)1611	豊田支店	0565(52)5311	熊本営業所	096(369)1711
東京支店	03(3543)2251	名古屋支店	052(723)1171	鹿児島営業所	099(267)2110
錦糸町支店	03(3846)3821	四日市支店	0593(54)1651	沖縄駐在所	098(833)2453
新宿支店	03(3350)5121	岐阜支店	058(273)0125	細江事業所	053(522)0951
立川支店	042(522)4131	京都支店	075(662)2171	津久井事業所	0427(84)7441
渋谷支店	03(3441)7391	京滋環境支店	075(662)2171	都田テクノ事業所	053(484)1051
神奈川支店	045(439)1536	大阪支店	06 (531)9915	銀座ショールーム	03(3571)7156
横浜支店	045(201)3211	東大阪営業所	06 (746)7117		

SR313001
T7805S80-1998.5

AMANO®

電子タイムレコーダー

EX3000N

取扱説明書

目次

はじめに

このたびは、アマノ電子タイムレコーダー EX3000N をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用の際は、本取扱説明書を熟読され、EX3000N の性能を十分に発揮し、末永くご愛用いただくために、お役立てください。また、本書は大切に保管し、わからなくなった時はもう一度お読みください。

ご注意

□EX3000N は、設置環境が悪いと、正常に使えなくなることがあります。屋外や雨水のかかるところでのご使用は避けてください。
□製品および本書は、改良のため予告なしに変更になる場合があります。
□本書の内容は万全を期して作成しておりますが、誤りや記載事項の不明点がありましたら、購入店の販売店までご連絡ください。
□本書の内容の一部または全部を、無断で複写、転載しないでください。
□本書仕様以外の記載は別冊あるいは差し込みとなる場合があります。

お願い

お手数ですが、ご愛用者カードに所定事項を記入していただき、控えをご購入の販売店にお渡しください。アマノご愛用者リストに登録し、より完全なアフターサービスが行えるようにしたいと存じます。

アフターサービス

電話やファクシミリによるお問い合わせはすべて無償ですが、出張して作業を行う場合は原則として当社規定の「作業料金」「交通費」などをご請求申し上げます。

製品構成

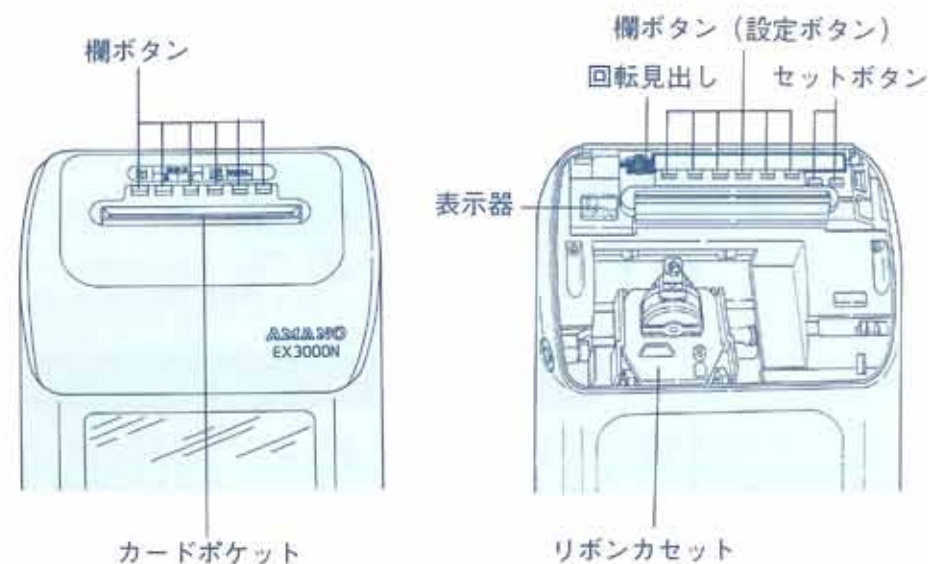
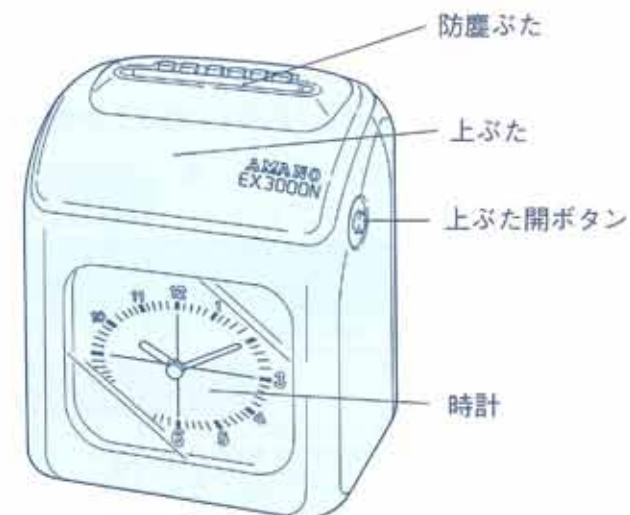
EX3000N の構成品は次の通りです。
梱包を開けましたら、すべての構成品があることを確認してください。

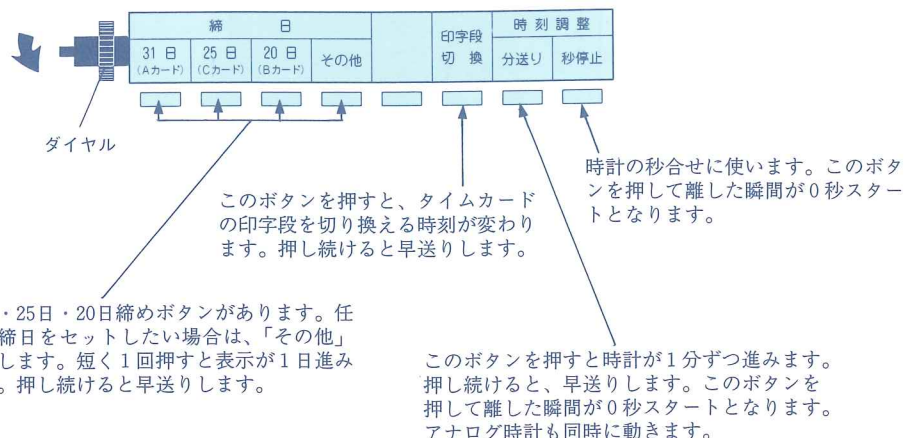
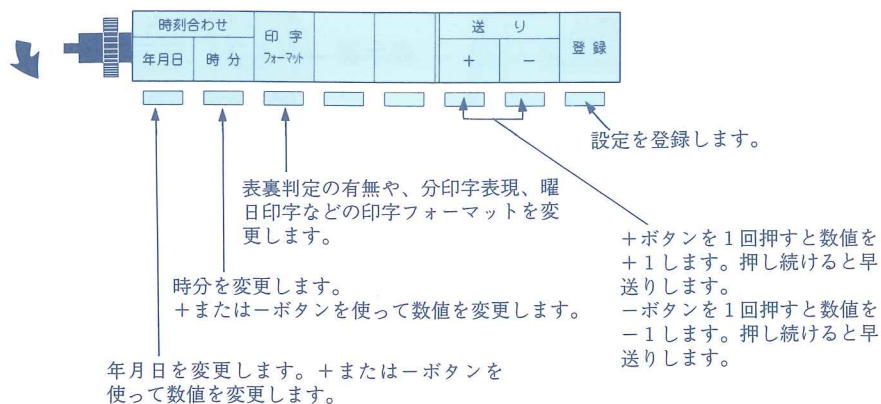
□EX3000N 本体　□テストカード　1枚　□取扱説明書（本書）　1冊

□ヒューズ（250V 1A）1本　□ご愛用者カード　1枚

（本体前ケース内側にテープでとめてあります）

各部の名称

外観

操作部

上ぶたを開けて、各項目の設定を行います。
左側にあるダイヤルを回して設定見出しを回転させることで、設定見出し①／②を出すことができます。
設定についての詳しい説明は、4ページ以降を参照してください。

操作のしかた

印字欄の合わせかた

手動選択

「出」「退」の印字位置は、欄ボタンで手動選択します。

◆ 欄ボタンが赤く点灯しているところに印字します。他の欄に印字したい場合は、印字したい欄ボタンを押します。

◆ 次に欄ボタンを押すまで印字位置は変わりません。

タイムカードの入れかた

印字欄を確認してカードを軽く挿入します。
カードは自動的に引き込まれ、印字されます。

表裏判定機能付

表裏を誤って挿入すると、ピーッと鳴ってカードを排出します。(設定により表裏判定する、しないを選択可能)

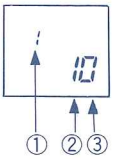
◆ 自動引込式です。無理に押し込んだり、印字中に引き抜いたりしないでください。

◆ 上下を誤って挿入すると印字してしまいます。注意してください。

◆ アマノ指定のタイムカード以外を挿入しないでください。
故障の原因になることがあります。

使用するタイムカードについて

アマノ標準タイムカードをご使用ください。締日によりカードが異なります。誤ったカード面（表裏反対）を挿入すると「ピー！」とエラー音が鳴り、印字しません。再度正しいカード面で挿入してください。

月 末 締 め —— Aカード
20 日 締 め —— Bカード
25 日 締 め —— Cカード
日付の印刷なし —— Dカード（特注品）

設定のしかた

電源を入れると、日付・時刻は内部のリチウム電池により歩進しているので、自動的に合います。
締日や印字段切換時刻などは初期値が登録されています。
初期値のままでご使用になる場合は、設定する必要はありません。

初期値一覧

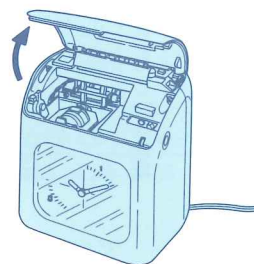
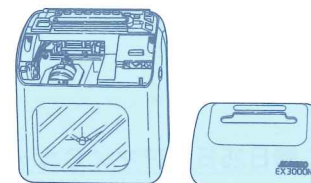
内容	設定値	初期値
締日	01～31	31
空段送り	01／17 （締日により自動的に決まる）	01
印字段切換時刻	時 00～23	03
印字フォーマット 1 10 ① ②③	①タイムカードの表裏判定 1：する　2：しない	1
	②分印字表現 1：60進法　2：100進法A 3：100進法B　4：10進法	1
	③曜日印字 0：日付　1：英語　2：漢字 3：曜日印字しない	0

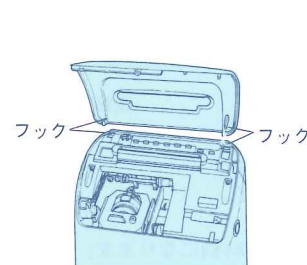
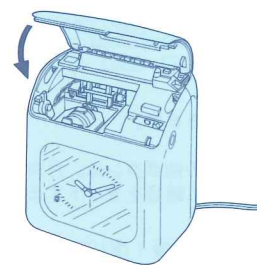
上ぶたの開閉

時刻合わせ・締日変更・年月日変更・リボンカセット交換等の時、上ぶたを開けます。

注）上ぶたの開閉は電源を入れた状態で行ってください。

開け方

①本体両脇の◎（上ぶた開ボタン）を指で同時に押します。
（開かない時はペンの頭などを使って開けます。）

②上ぶたを開きます。

③上ぶたを取り外します。

閉め方

①上ぶたのフックを本体のフックに引っ掛けます。

②上ぶたを手前に倒します。パチッというまで上ぶた前面を強めに押してはめます。

③閉めると、時計の針が回り、一度12時で止まり、その後現在時刻に合います。

締日の変更

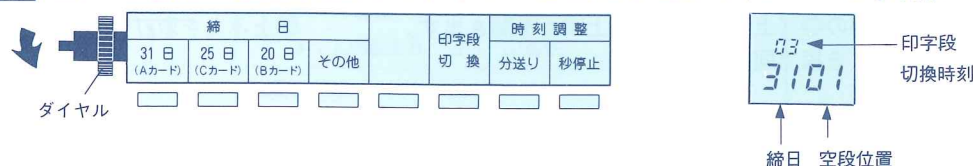
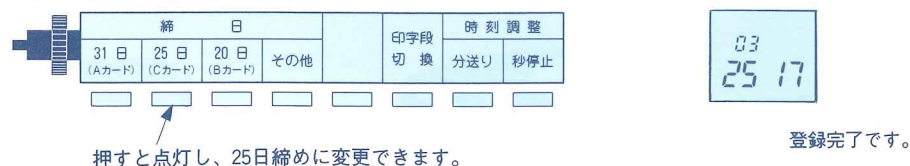
締日とは、１か月単位の処理月の最終日を言います。
アマノＡカード使用の場合は、セットする必要がありません。
アマノＢ、Ｃカード使用の場合は、20日・25日の締日ボタンを押すだけで締日が変更できます。タイムカードの空段位置は下表のとおり締日により自動的に決まります。

締め日	空段位置
31日・１〜14日	１段目
15日〜30日	17段目

例：締日25日（アマノＣカード使用）

1 上ぶたを開け、設定見出しのダイヤルを回転させます(５ページ参照)

2 変更したい締日のボタンを押します

押すと点灯し、25日締めに変更できます。

登録完了です。

• その他ボタンは、月末、25日、20日以外に締日をセットする際に押します。

☞ 上ぶたを閉めると、時計の針が回転し、その後１度12時でとまり、現在時刻になります。

締日が15日のとき

アマノＡカードを使用します。カード裏面から使い始めます。

印字段切換時刻の変更

印字段切換時刻とは、１日の始まりを表す時刻、つまり印字段を切り換える時刻のことです。
時間単位の変更のみで分位は00分固定、時間の表示のみです。
印字段切換時刻は午前３時に設定されています。

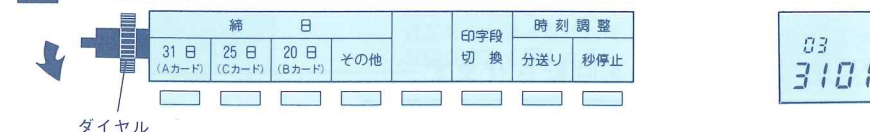
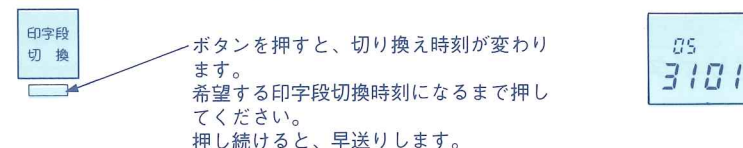
例：印字段切換時刻　午前５時

1 上ぶたを開けます（５ページ参照）

2 設定見出しのダイヤルを回転させます

03
3101

3 印字段切換ボタンを押します

ボタンを押すと、切り換え時刻が変わります。
希望する印字段切換時刻になるまで押してください。
押し続けると、早送りします。

☞ 上ぶたを閉めると、時計の針が回転し、１度12時でとまりその後現在時刻になります。

時計の合わせかた

時計が遅れたり進んだときに、時計を合わせます。
時計の合わせかたには二通りあります。
通常は、「分の合わせかた」で時計を合わせます。
万一、日付や時間が違うときに「日付の合わせかた」で時計を合わせます。

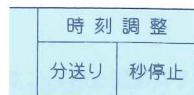
> 注）時計合わせを行いますと、時計の針は自動的に動きますので、絶対に針には触れないでください。

分の合わせかた

1 上ぶたを開けます（5ページ参照）

2 設定見出しのダイヤルを回転させます

03 3101
印字段 切換時刻
締日　空段位置

3 分送りボタンと秒停止ボタンで時計を合わせます

分送りボタン、秒停止ボタンを押すと、画面が時計表示に変わります。

08:30

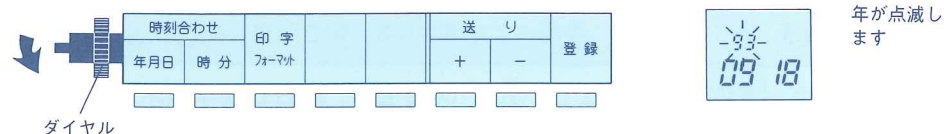
※分を戻すことはできません。
数分の進みであれば秒停止ボタンを押して時刻調整します。
数十分の進みであれば、「時刻合わせ」の時分ボタンを押して、時刻調整します。
（9ページ参照）

☞ 上ぶたを閉めると、時計の針が回転し、その後1度12時でとまり、合わせた時刻になります。

日付け・時刻の合わせかた

年・月・日・時・分の修正をします。
5ページを参照し、上ぶたを開けて操作します。

例：1993年9月18日18時00分⇨1993年9月21日8時30分

1 設定見出しのダイヤルを回転させます

年が点滅します

2 西暦年を合わせます

西暦年を確認します。
修正する必要がなければ登録ボタンを押します。

登録ボタンを押すと月が点滅します

3 月を合わせます

月を確認します。
修正する必要がなければ登録ボタンを押します。

登録ボタンを押すと日が点滅します

4 日を合わせます

21になるまで⊞ボタンを押します。
21になりましたら登録ボタンを押します。

登録ボタンを押すと確定します

5 時分ボタンを押します

時が点滅します

6 時を合わせます

8になるまで⊟ボタンを押します。
8になりましたら登録ボタンを押します。

登録ボタンを押すと分が点滅します

7 分を合わせます

30になるまで⊞ボタンを押します。
30になりましたら登録ボタンを押します。

登録ボタンを押すと登録完了です

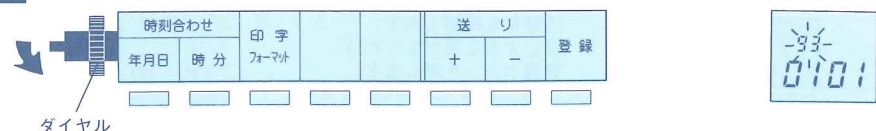
☞ 上ぶたを閉めると、時計の針が回転し、1度12時でとまり、その後合わせた時刻になります。
☞ 年は、00～92が2000年代、93～99が1990年代となります。

印字フォーマットの変更

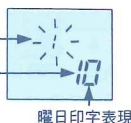
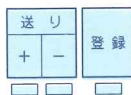
印字フォーマットとは、タイムカードの表裏判定の有無や時刻や曜日の印字形式を決めることです。
5ページを参照し、上ぶたを開けて操作します。

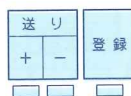
タイムカードの表裏判定　1：する　2：しない
分印字表現　1：60進法　2：100進法A　3：100進法B　4：10進法
曜日印字表現　0：日付　1：英語　2：漢字　3：曜日印字しない

例：タイムカードの表裏判定なし、分は100進法B、曜日は漢字表示にします。

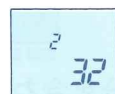
1 設定見出しのダイヤルを回転させます

2 印字フォーマットボタンを押します

印 字
フォーマット

ボタンを押すと
画面が変わります。

3 タイムカードの表裏判定を変更します

2になるまで⊞ボタンを押します。
2になりましたら登録ボタンを押します。

4 分印字表現を変更します

3になるまで⊞ボタンを押します。
3になりましたら登録ボタンを押します。

5 曜日印字を変更します

2になるまで⊞ボタンを押します。
2になりましたら登録ボタンを押します。

☞ 上ぶたを閉めると、時計の針が回転し、1度12時でとまり、その後現在時刻になります。

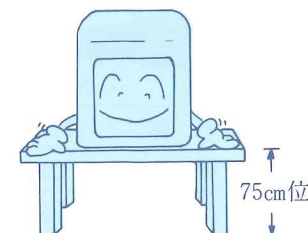
準備

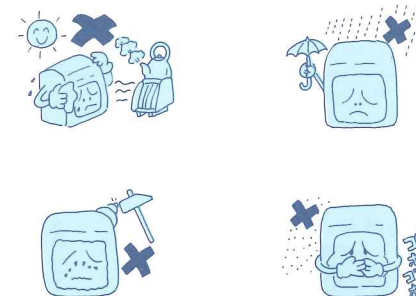
EX3000Nを使用できるまでの準備について説明します。

設置のしかた

製品を長くお使いいただくためにも設置場所や電源は良い状態を選びます。

設置場所

■台の高さは75cmくらいが適当です。
■タイムレコーダーは水平にして設置してください。
■アマノ専用レコーダースタンドがございます。ご利用ください。

設置を避ける場所

■直射日光や熱源に近い場所
■雨水等の直接当たる場所
■ホコリ、振動の多い場所
■強い振動や衝撃のある場所

電源について

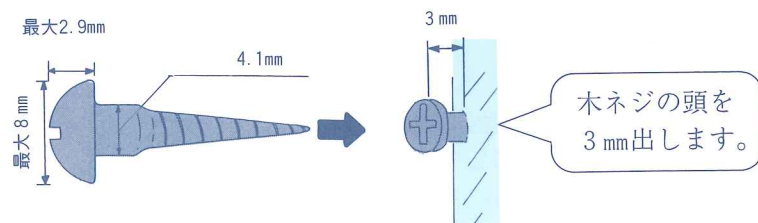
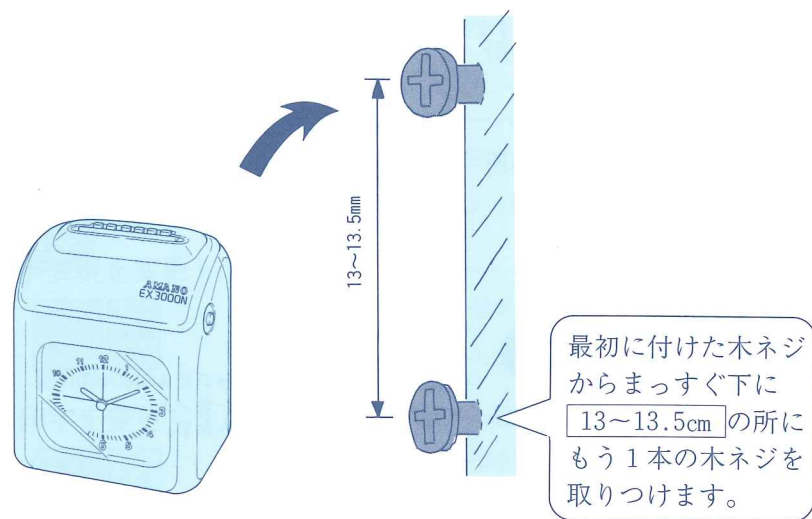
■電源はAC100V（50/60Hz）でご使用ください。
■電源、電圧は安定したところでご使用ください。
■電源は終夜電源にして、他の機種と独立させてください。
■リチウム電池を内蔵していますので、停電になっても内部時計は歩進しています。

電源プラグをAC100Vの
電源コンセントに
差し込みます。

壁に掛ける場合

1 木ネジを壁に取りつけます。

①94cm～124cm程度の所にネジを付けると使いやすい高さです。

〔実寸大〕
0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
／cm

②2本目を取りつけます。

2 本体背面のダルマ穴を木ネジに掛けます。

こんなときには

こんなときには

現象	原因と処理	
カードが入らない	・停電中	⇨ 復電するまで待つ
	・電源コードが抜けている	⇨ 電源プラグをコンセントへしっかりと差し込む
	・カードを引き抜いたり無理に押し込んだりした	⇨ 一旦電源プラグを抜き、差し込み直す
“ピーッ”と音がして印字しない	・カード面を逆に挿入した	⇨ 裏面にして挿入する
	・カード挿入の失敗	⇨ 軽く押しぎみに挿入する
時計が進まない	・停電中	⇨ 復電するまで待つ
	・電源コードが抜けている	⇨ 電源プラグをコンセントへしっかりと差し込む
	・時計部の動作不良	⇨ 一旦電源プラグを抜き、差し込み直す
時計が遅れている（進んでいる）	・時刻合わせの間違い	⇨ 「分の合わせかた」P. 8 参照 「日付け･時刻の合わせかた」P. 9 参照
	・長時間の停電	⇨ 「分の合わせかた」P. 8 参照 「日付け･時刻の合わせかた」P. 9 参照
	・時計部の動作不良	⇨ 一旦電源プラグを抜き、差し込み直す
日付が違う	・日付合わせの間違い	⇨ 「日付け･時刻の合わせかた」P. 9 参照
印字がうすい（印字が欠ける）	・リボンの寿命	⇨ リボンカセットの交換
	・リボンカセットの装着ミス	⇨ 正しくセットしなおす
印字位置が違う	・締日などの設定間違い	⇨ 「締日の変更」P. 6 参照
	・利用方法の誤り	⇨ カードの挿入､取出し方を指導
印字が流れる	・利用方法の誤り	⇨ カードの取出し方を指導

☆以上を点検しても正常にご使用できない場合は、むやみに分解・注油などを行わないで弊社最寄の支店・営業所またはお求めの販売店へご連絡ください。

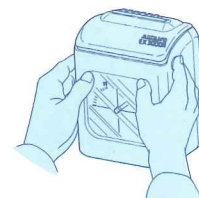
エラーコード一覧とメッセージ

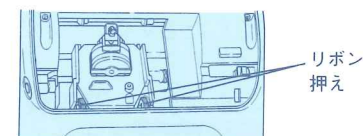
エラー音がして、出退ボタンのランプが消えた場合は、本体内部で異常が発生しています。電源コードを一度抜き、しばらくしてから再度コンセントへ差し込んでください。回復しない場合は上ぶたを開けエラー表示を確認後、お買い上げの販売店へご連絡ください。
エラー表示は上ぶたを開けてから4秒間表示します。4秒以降は設定モードに入ります。

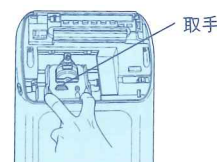
エラー番号	エラー内容	処　置
Err 1	時計ホームポジションセンサエラー	弊社支店・営業所またはお求めの販売店へご連絡ください。
Err 2	欄ホームポジションセンサエラー	
Err 3	印字タイミングパルスセンサエラー	

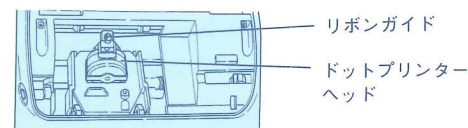
※Err 1は打刻できます。Err 2・Err 3は打刻できません。

リボンカセットの交換

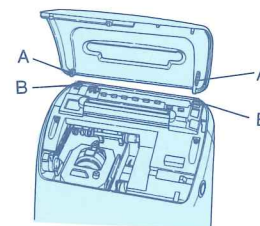
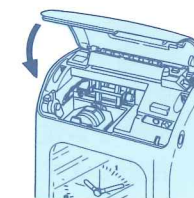
注）電源を入れた状態で行ってください。

1 上ぶたを開けます

本体両脇の◎（上ぶた開ボタン）を同時に押して上ぶたを開けます。

ドットプリンターが中央に寄ります。

2 リボンカセットを取り出します。

上図のようにリボン押えを手前に引いたまま、カセットの取手をもって引き抜くように取り出します。

3 新しいリボンカセットをセットします。

リボンカセットを、リボンガイドとドットプリンターヘッドの間に正しく入れます。

パチッというまで押してセットし、つまみを時計方向に回してたるみをとります。

4 上ぶたを閉めます

上ぶたのフック（上図A）を本体フック（上図B）に引っ掛けて、上ぶたを手前に倒してはめ込みます。

日常のお手入れ

ケースが汚れたときのふき取り

- 柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽くふいてください。
- ベンジン、シンナー（揮発性のもの）などの薬品を使用してふきますと、変形や変色の原因となります。
- 殺虫剤などのスプレーをかけた場合でも、変形や変色の原因となります。

窓ガラスは柔らかい布で乾拭きしてください。表面は特殊加工されていますので、ご注意ください。

製品仕様

使用電源：AC100V±10％（50／60Hz）

消費電力：常時4W　最大20W

環境条件：温度−10℃〜40℃
湿度10％〜90％ RH（結露のないこと）

外形寸法：幅190mm×高さ224mm×奥行127mm

質量(重量)：2.3kg

時計方式：水晶発振方式週差±3秒以内（25℃±5℃）

停電補償：リチウム電池にて停電累計で3年間（内部時計以外の機能はすべて停止します。）

消耗品・別売品

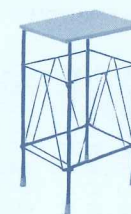
★お買い上げいただいた販売店へお問い合わせください。

タイムカード（1箱100枚）

Aカード　月末締め用カード

Bカード　20日締め用カード

Cカード　25日締め用カード

レコーダースタンド

400W×685H×300D（m/m）
5.5kg

リボンカセット

単色：黒

カードラック（サイズの単位はmmです。）

12枚差し（ABS樹脂製）
108W×490L×34D

20枚差し（ABS樹脂製）
108W×710.6L×34D

50枚差し（スチール製）
206W×862L×42.5D

☆デザイン・仕様はお断りなく変更することがございます。